

資料提供	
平成26年2月5日	
担当課 (担当者)	東部福祉保健事務所 (鳥取保健所) 健康支援課(山本・織奥)
電話	0857-22-5694

施設における感染性胃腸炎の集団発生(第2報)

1 経緯

2月4日(火)に資料提供した感染性胃腸炎(疑)の集団発生について、有症状者の便検査を実施したところ、「ノロウイルス」が検出されました。

2 患者の発生状況(2月5日(水)午後5時現在)

区 分	人数	患者数	現有症状者数
園 児	212名	49名	7名
職 員	42名	4名	0名

施 設 名:社会福祉法人あすなろ会鳥取あすなろ保育園

代表者名:園長 おおもり ふみこ 大森 史子

所 在 地:鳥取市江津571-2

主な症状:嘔吐、下痢

発 症 日:1月23日

※患者のプライバシー保護の観点から、当該施設への取材には御配慮ください。

3 今後の対応

- (1)施設及び家庭での二次感染防止対策の徹底の指導
- (2)園児及び職員の健康調査の継続

<感染性胃腸炎(5類感染症)>

- 感染性胃腸炎とは、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢などの胃腸症状を主とする感染症です。
- 原因としては、細菌性のものとウイルス性のものがあり、ウイルス性のもののうち、ノロウイルス及びロタウイルスが代表的なものです。
- 鳥取県感染症流行情報第5週(1月27日～2月2日)によると、東部地区で流行、中部及び西部地区でやや流行の状況です。

<各施設における予防対策>

- 下痢、嘔吐、腹痛などの症状があった場合は、早めに医療機関を受診すること。
- 施設利用者等に用便後、調理前後、食事前の手洗いの励行を徹底すること。
- 下痢便や嘔吐物の処理をする場合は、使い捨て手袋を使用するとともに、手洗い、十分な消毒を行うこと。
- 有症者は、シャワー浴に限定すること。
- 手すり、ドアノブ、汚染衣服等の消毒を行うこと。
- 施設内で予防対策を確認し、正しい知識を普及すること。